

一人一人が輝く学校

南山中学校ブロック【9年間を見据えた小中一貫教育】

〔めざす児童生徒像〕 自分が好きで、他と認め合うことのできる児童生徒

〔めざす学校〕 ―今日が充実して楽しい学校・明日が待ち遠しい学校―

〔本年度の具体的な取り組み〕

- はっぴーすまいるタイムを通した仲間づくり、自己肯定感を高める取組を進める。
- 教職員の合同研修会などの実施と相互の授業観察を進める。

〔地域・家庭との協働〕

- 地域協働活動を通して共通理解を図る取組を進める。
- 学校からの情報発信に努めるとともに、家庭・地域との間で双方向の理解を進める。

【経営方針】

一人一人を大切に、家庭・地域との連携をはかり、健康で自ら学ぶ「かしこい」水南っ子を育む学校づくりを推進する。

【めざす児童像】

- ・ みずから考える子
主体的に意欲をもって学習できる子
- ・ おもいやりのある子
自分が好きで、他と認め合うことのできる子
- ・ たくましい子
健康で前向きに行動できる子

【めざす教師像】

- ・ みずから考える教師
前例にとらわれず、最善を尽くす教師
- ・ おもいやりのある教師
利他の気持ちを持った教師
- ・ たくましい教師
児童に根気よく向き合える教師

〔本年度の重点努力目標〕

I 確かな学力の定着

- ・ 子どもの「やってみたい」「調べたい」といった思いを引き出す導入を行う。
- ・ 子どもが切実感をもって課題をつかむことができる導入を行う。
- ・ 子どもが自分の考えや思いを話したくなる場面を一授業内に意図的につくる。
- ・ 単元を通してどのような力を身につけさせたいかを意識して各授業を組み立てる。

II 居心地の良い学級・学校づくり

- ・ 子どもと気持ちのよいあいさつを交わし、一言話して、温かい雰囲気づくりをする。
- ・ 子どもの話を聴いたり、子どもの行動を待ったりすることを意識する。
- ・ 「はっぴーすまいるタイム」を通して、自他を大切にする思いやりの心を育てるために、SSTやSGEの活動を授業でも意識して取り入れる。
- ・ 子どもの様子を見取り、学校・学年・SCやSSWerと情報共有を密に図るとともに、いじめ不登校対策を推進する。

III 家庭・地域との協働

- ・ 家庭・地域との情報共有を密にし、あいさつの励行と児童の安全・健康の推進を図る。
- ・ 「マメナシ観察会」と連携し、マメナシ学習を通じて環境教育を推進するとともに、郷土愛を醸成する。
- ・ 保育園、公民館など地域の諸機関との交流を推進する。

IV 9年間を見据えた小中一貫教育の推進

- ・ 子どもが大人になったときに、一緒に働きたくなるような人を育成する。
- ・ 南山中学校区の小中学校と連携を深め、成果や課題を共有しながら教育活動を進める。

V 子どもにも教職員にもやさしい環境の整備

- ・ 子どもにとって学びやすい環境、教職員にとって働きやすい環境づくりに努める。
- ・ 業務精選にクラウドを有効活用する。
- ・ 教職員の多忙化解消に努め、毎月2回は定時退校を行う。目安として、第2水曜日と第4金曜日を定時退校日とする。